

# 学生に建築都市デザイン基礎力を 修得させるための教育プログラム開発

建築都市工学部  
住居・インテリア学科  
教授

香川 治美



## 研究シーズの紹介

本研究シーズの目的は、建築都市工学を学ぶ学生のために「建築都市デザイン」に必要な基礎力を養成させるための授業展開するための教育プログラムを開発することです。

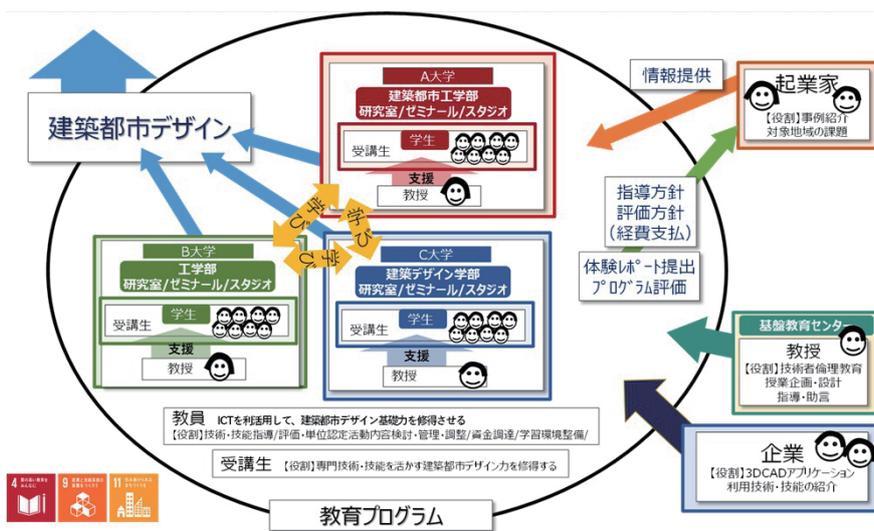
本教育プログラムの特徴は以下3点です；

- ①建築都市デザイン基礎力を定義し評価指標(ルーブリック評価表)を設計していること
- ②ICTを利用して、課題解決型の教育プログラムを産学間連携体で展開できること
- ③建築都市デザインに関わる課題解決を対象としていること



## デザイン思考による 教育技術

- 「建築都市デザインカ」を修得させる課題解決型の教育プログラムです。
- 産学連携による授業展開と、4つの指標による学生評価が可能です。

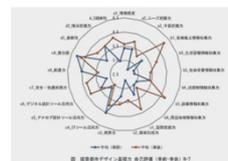


## 期待される活用シーン

- 受講により、学生が建築都市デザイン力を修得できているか、その評価は難しい。



本教育プログラムの指標  
{聴く力, 情報処理力,  
表現力, チームワーク力}  
により、受講前後を評価する。



- 建築都市デザインカを修得させる授業を、教員ひとりで展開するのは負担が大きすぎる。



民間企業と、複数の大学(教育機関)との連携により授業展開する。



## その他の研究テーマ

- ・大学生による振興国・建築都市デザイン提案のためのオンライン・インターンシップ・プログラムの開発
- ・国際的で高度な工学を学べるWEBサイト教材ラーニングコンテンツの開発